

1. 事務事業評価（地方創生関連事業）

①歩行者天国実施事業

担当部局(所管課)	商工労働観光部(商工労政課)	事業開始年度	平成28年度	
事業概要	<p>【目的】 歩行者天国の開催を通して中心部に新たな魅力を創出し、中心市街地の回遊性向上や来街者のまちなか滞留時間の延長を図ることにより、中心市街地の活性化につなげ、ひいては、本市はもとより県内全域の経済活性化を目指す。</p> <p>【活動内容】 歩行者天国の実施主体である大分市中央通り歩行者天国推進委員会に対して、開催補助金を交付することにより、円滑な事業実施を図る。当該委員会は、学識経験者のほか、商店街、公共交通機関、経済団体、報道機関、行政の各関係者から構成されており、歩行者天国の実施に当たり、イベント内容の企画や関係機関との調整、市内外に向けた情報発信等を行う。なお、歩行者天国の効果等を検証するための歩行者通行量調査は市が実施する。 平成29年度は、4月16日(日)午後1時～4時、10月20日(土)午後1時～4時、2月10日(土)午後3時～7時の3回実施。</p>			
事業費	平成29年度 予算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額	
	31,925 千円	27,109 千円	29,155 千円	
財源内訳	地方創生交付金	15,962 千円	13,554 千円	14,577 千円
	県支出金	千円	千円	千円
	一般財源	15,963 千円	13,555 千円	14,578 千円
重要業績評価指標 (KPI = Key Performance Indicator)				
指標名	目標値(平成29年度)	実績値(平成29年度)	達成状況	
① 歩行者天国イベントへの来場者数	25,000 人	21,666 人	未達成	
② まちなかに3時間以上滞留する人の割合	40.0 %	53.8 %	達成	
③ 中心市街地の空き店舗率	6.1 %	11.8 %	未達成	
内部評価				
事業効果	A : 高い B : やや高い C : ふつう D : やや低い E : 低い			
評価理由	<p>29年度は、3回の開催のうち、2回があいにくの雨天となったため、指標①の目標に掲げた来場者を集めることはできなかったが、雨天対策を講じたことにより9割弱を達成することができた。指標②に関しては、すべてが本事業による効果ではないが、目標値を大きく上回る結果となり、着実に中心市街地の魅力アップにつながっているものとする。一方で、指標③については長期的な視点で効果を見込む必要があり、今回は空き店舗率が上昇する結果となったが、目標達成に向けて他の中心市街地活性化施策も実施する中、継続的な取組が求められる。</p> <p>また、29年度からは、歩行者天国の開催に合わせて複数の商店街において、「食」や「音楽」などの独自イベントを開催する取組も新たに始まっており、それぞれの商店街が人を呼び込み、売上を向上させるための自助努力を行う気運も高まっていることから、一定の成果があったものとする。</p>			
今後の方向性(考え方)	<p>30年4月・9月の開催を含め、これまで7回の実施により、中心市街地の新たな魅力として定着しつつあるが、現状では、その効果が未だ短期的であり、また、中心市街地の範囲に留まっていると考えられることから、長期的な視点での商店街の魅力向上や空き店舗の解消、さらには、地域経済の活性化につなげていく必要がある。</p> <p>こうした中、同時期に開催される他のイベントとの連携や、県内市町村による連携ブースの拡充、イベント内容等の改善によるコスト縮減などにも努めているが、今後も本事業を維持発展させていくためには、実施手法等の改善はもとより、商店街や各店のさらなる自助努力を促していく必要がある。</p>			
外部行政評価委員会意見				

②アートレジオン推進事業

担当部局(所管課)	企画部(企画課)	事業開始年度	平成29年度	
事業概要	<p>【目的】 人口減少や少子高齢化が進む佐賀関、野津原、大南地区の周辺地域にアーティストを呼び込み、アートイベントや制作活動を通して文化芸術の振興を図るとともに、地域住民との交流を促進することで地域の活性化につなげる。</p> <p>【活動内容】 魅力的なアーティストを戦略的に呼び込むために、アーティスト移住可能性調査を行い、本市の現状把握及び今後の方策を検討したうえで、効果的な事業の推進を図る。 本事業の柱として、佐賀関地区の学校跡地(旧大志生木小学校)の一部をアトリエとして活用し、地域とアーティストが連携したアートイベントを各地区で開催することで地域の活性化につなげる。 また、移住を促進するため、アーティストに特化した移住ガイドブックを制作・配布するほか、大分都市広域圏の連携事業として移住見学ツアーを開催することで、地方への潜在的な移住希望者の掘り起こしを図る。</p>			
事業費	平成29年度 予算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額	
	10,789 千円	7,183 千円	10,481 千円	
財源内訳	地方創生交付金	5,394 千円	3,591 千円	5,240 千円
	県支出金	千円	千円	千円
	一般財源	5,395 千円	3,592 千円	5,241 千円
重要業績評価指標 (KPI = Key Performance Indicator)				
指標名	目標値(平成29年度)	実績値(平成29年度)	達成状況	
① アーティスト移住者数 【目標指標値 /29年度:0人 30年度:1人 31年度:1人】	— 人	— 人	—	
② 移住体験(見学)アートツアーの開催 【目標指標値 /29年度:1回 30年度:2回 31年度:2回】	1 回	1 回	達成	
③ ワークショップ等のイベント開催数 【目標指標値 /29年度:1回 30年度:2回 31年度:2回】	1 回	1 回	達成	
内部評価				
事業効果	A : 高い B : やや高い C : ふつう D : やや低い E : 低い			
評価理由	<p>指標①では、平成30年度以降におけるアーティスト移住者の呼び込みを目標としており、平成29年度はその土台づくりとして、アーティスト移住可能性調査による本市の現状把握及び移住のインセンティブの検討やアートに特化した移住ガイドブックの制作・配布によるアーティスト向けの魅力発信を行った。特にガイドブックの成果として、県外のアーティストからの問い合わせや学校跡地のアトリエ見学依頼などがあり、移住希望者の掘り起こしができたものと考えられ、効果的な事業推進につなげることができた。</p> <p>さらに、指標②に掲げる移住体験(見学)アートツアーについては、大分都市広域圏の連携事業として計画通り開催し、圏域内のアトリエ見学や圏域在住アーティストとの意見交換等を行った結果、参加者から旧大志生木小学校のアトリエ利用を関係課と連携を図りながら推進していく必要がある。</p> <p>また、指標③に掲げるワークショップ等のイベントについては、平成30年度以降におけるアトリエ活用を見据えたモデル事業として旧大志生木小学校を会場に計画通り開催し、地域、アーティストが運営を通して交流を図る中、市内外から多くの人が訪れるなど、地域のにぎわい創出につながった。</p>			
今後の方向性(考え方)	<p>本事業の柱である佐賀関地区の旧大志生木小学校のアトリエ活用については、平成29年度の取組の結果、平成30年度に入りアーティストによる利用も始まり、現在4組が活動中である。今後は、学校跡地に限らず、空き家等を活用したアトリエ利用を関係課と連携を図りながら推進していく必要がある。</p> <p>また、呼び込んだアーティストについても定住につながるよう、大分都市広域圏で連携したワークショップの開催や作品発表の場の提供などの活動支援を行っていく必要がある。</p> <p>そして、ワークショップ等のイベントについては、旧大志生木小学校をアトリエ利用するアーティストが佐賀関地区のみならず、大南地区、野津原地区へと展開していくことで、地域活性化の効果を広範囲に波及させていく必要がある。</p>			
外部行政評価委員会意見				

2. 指定管理者制度導入施設評価

①

所管課	福祉保健部 福祉保健課
施設種別	社会福祉施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市丹生温泉施設		
	所在地	大分市大字丹生1189番地		
	設置目的	市民の健康の保持及び増進を図るとともに地域の活性化に寄与すること。		
指定管理者	名称	社会福祉法人 大分市福祉会		
	代表者名	理事長 大塚 富造		
	所在地	大分市大字松岡3743番地		
指定管理業務の内容	①大分市丹生温泉施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ②大分市丹生温泉施設の施設及び設備の維持管理に関する業務 ③管理施設の利用促進及び丹生温泉の振興を図る業務			
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日（3年間）	導入年度	平成17年度	
料金制度	利用料金制	選定方法	公募	

2. 制度導入による効果

サービスの向上等							
<p>開館時間：12:00～21:00 休館日：毎月第2水曜日（祝日の場合は変更あり）</p> <p>《主な取組》 ・17年5月のオープン時から指定管理者制度を導入。当初から接客研修を行い、サービスの向上に努めている</p> <p>《自主事業》 ・敬老の日の週（29年度は9/11～9/15）を70歳以上の方に無料開放した 389人 ・市民感謝デーを実施（12歳以上100円 12歳未満 無料）10/2～10/6 1,327人 ・イベントで、無料入浴券が当たる抽選会を実施 10/7～3/31 228人 ・月刊シテイ情報おいた1月号に掲載したクーポン券で入浴料を100円とした 1,543人 ・「お湯マジ！ in おんせん県おいた」期間中（11/7～3/31）全額免除 3人</p>							
利用者数（単位：人）				29年度 目標④	43,082	達成率 ①/④	105.1%
17年度② (前年度入浴日)	25年度	26年度	27年度	28年度③	29年度①	17年度比 ①-②	28年度比 ①-③
39,169	35,788	40,256	44,498	45,906	45,291	6,122	▲615
管理運営経費の削減額（直営比較時）（単位：千円）				利用者満足度（%）			
導入1年目指定管理料（b）		29年度指定管理料（a）		削減額（a）-（b）		満足	やや満足
4,166		4,000		▲166		56.1	20.7

3. 評価結果

内部評価	
B	<p>利用者の増加に向けて、29年度は従来行ってきた自主事業に加え、新たに「丹生温泉市民感謝デー」の開催や、地域の祭りへの協力を行うなど、積極的な広報活動を展開により、利用者数は前年度よりも減少したものの、29年度目標は達成しており、依然高い数値を維持している。</p> <p>また、今期においても、収支は黒字を維持するなど、好調な施設運営を行っている点については、高評価に値する。さらに、利用者アンケートの結果は、好評を得ていることから、引き続きリーダーの確保に努めるとともに、広報媒体を活用したPRによる新規利用者の獲得にも力を入れていく必要がある。</p>

【評価基準】

- A: 期待を大きく上回る成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 B: 期待を上回る成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 C: 期待した成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 D: 期待を下回る成果となっており、管理運営の改善が必要である
 E: 期待を大きく下回る成果となっており、管理運営の大幅な見直しが必要である

【評価基準の判定の考え方】

- 「C」：制度導入前よりも施設利用者数が増加しており、管理運営経費が削減できている・・・(1)
 「B」：(1)を達成しており、かつ年度当初目標の施設利用者数を達成している・・・(2)
 「A」：(1)(2)かつ、年度当初目標を大幅に上回り、著しい成果が挙げられている・・・(3)
 「D」：(1)を達成しておらず、制度導入時よりも成果が挙っていない・・・(4)
 「E」：(4)より、さらに市民サービスに影響を及ぼし、著しく成果が挙っていない・・・(5)

②

所管課	福祉保健部 福祉保健課
施設種別	社会福祉施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市多世代交流プラザ		
	所在地	大分市大字野津原800番地		
	設置目的	世代間の交流及び高齢者等の健康の増進を図るとともに福祉に関する市民の自主的な活動を促進することにより、市民の福祉の向上に寄与すること。		
指定管理者	名称	社会福祉法人 大分市社会福祉協議会		
	代表者名	会長 右田 芳明		
	所在地	大分市金池南1丁目5番1号 J:COMホルトホール大分4階		
指定管理業務の内容	①管理施設の利用に関する業務 ②福祉に関する各種相談、援助及び指導に関する業務 ③教養の向上及びレクリエーションに関する業務 ④健康の増進に関する業務 ⑤管理施設の維持管理に関する業務			
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日（3年間）	導入年度	平成18年度	
料金制度	—	選定方法	任意指定	

2. 制度導入による効果

サービスの向上等							
<p>開館時間：9:00～17:00（事前予約ありの場合～21:00） 休館日：12/28～1/4、日曜日・国民の祝日（事前予約時のみ9:00～21:00）</p> <p>《主な取組》 ・開館時間を17:00から21:00に延長（事前予約のみ） ・日祝・祝日を9:00から17:00まで開館（事前予約のみ）</p> <p>《自主事業》 ・親子クッキング教室（参加者計28人[前年度56人]） ・野津原つつまつり（参加者計134人[前年度160人]） ・スカットボール大会（参加者計450人[前年度545人]） ・ほっとアロマ教室（参加者計63人[前年度99人]）</p>							
利用者数（単位：人）				29年度 目標④	8,000	達成率 ①/④	107.6%
17年度② (直営時)	25年度	26年度	27年度	28年度③	29年度①	17年度比 ①-②	28年度比 ①-③
7,208	9,159	8,811	8,384	7,170	8,605	1,397	1,435
管理運営経費の削減額（直営比較時）（単位：千円）				利用者満足度（%）			
直営時管理運営経費（b）		29年度指定管理料（a）		削減額（a）-（b）		満足	やや満足
6,574		4,423		▲2,151		66.6	16.6

3. 評価結果

内部評価	
B	<p>高齢者向けや親子の触れ合いなど、福祉の向上を目的とした事業を展開しているほか、地域の祭りに参加したり各種教室やふれあい交流を目的としたスカットボール大会を開催するなど、さまざまな事業を通じて地域貢献に努めており、施設利用者数も昨年より1,400人近く増加し、事業計画に掲げた目標値を達成しているため、二次評価をB評価とした。</p> <p>今後は、近隣に地域密着型のNPO法人が運営する施設との共存を図りながら、比較的参加者数の少ない男性利用者の増加を促すなど、利用者数増加に向けた取組を講じていく必要がある。</p>

【評価基準】

- A: 期待を大きく上回る成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 B: 期待を上回る成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 C: 期待した成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 D: 期待を下回る成果となっており、管理運営の改善が必要である
 E: 期待を大きく下回る成果となっており、管理運営の大幅な見直しが必要である

2. 指定管理者制度導入施設評価

③

所管課	福祉保健部 福祉保健課
施設種別	社会福祉施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市活き活きブラザ潮騒		
	所在地	大分市大字佐賀関869番地の4		
	設置目的	高齢者の健康の増進を図るとともに福祉に関する市民の自主的な活動を促進することにより、市民の福祉の向上に寄与すること。		
指定管理者	名称	社会福祉法人 大分市社会福祉協議会		
	代表者名	会長 右田 芳明		
	所在地	大分市金池南1丁目5番1号 J.COM ホルトホール大分4階		
指定管理業務の内容	①管理施設の利用に関する業務 ②福祉に関する各種相談、援助及び指導に関する業務 ③教養の向上及びレクリエーションに関する業務 ④健康の増進に関する業務 ⑤管理施設の維持管理に関する業務			
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日（3年間）	導入年度	平成18年度	
料金制度	—	選定方法	任意指定	

2. 制度導入による効果

サービスの向上等								
開館時間：9：00～17：00（事前予約ありの場合～21：00） 休館日：12/28～1/4、日曜日・国民の祝日（事前予約時のみ9：00～21：00） ≪主な取組≫ ・開館時間を17：00から21：00に延長（事前予約分のみ） 【自主事業】 ・サロン指導者ゲーム講習会（参加者計47人[前年度46人]） ・中学生の高齢者模擬体験・ボランティア交流会事業（参加者計40人[前年度45人]） ・スカットボール大会（参加者計295人[前年度325人]） ・ふれあい作品発表交流会事業（参加者計56人[前年度124人]） ・よっといで・遊びの学校事業（参加者計54人[前年度54人]） ・子育てサロン「関キッズ」交流事業（参加者計49人）								
利用者数（単位：人）				29年度目標④	6,000～6,500	達成率①/④	—	
17年度② （直営時）	25年度	26年度	27年度	28年度③	29年度①	17年度比①-②	28年度比①-③	
4,068	5,669	5,900	6,235	6,193	5,816	1,748	▲ 377	
管理運営経費の削減額（直営比較時）（単位：千円）						利用者満足度（%）		
直営時管理運営経費（b）		29年度指定管理料（a）		削減額（a）-（b）		満足	やや満足	
4,806		4,938		132		21.9	38.0	

3. 評価結果

内部評価	
C	佐賀関エリアの人口減少、高齢化の進行に伴い、施設利用者数は27年度の6,235人をピークに近年では6,000人前後で推移しており、今後も大幅な利用者の増加は見込めない中、昨年と同程度を維持しており、また、自主事業として高齢者参加事業のほか、中学生とのボランティア交流会や新たに子育てサロン「関キッズ」交流事業を開催するなど、福祉の向上を目的とした事業を展開により、地域貢献している。 今後も引き続き、地域密着の交流事業を展開するなど、地域の触れ合いの場として、利用者満足度を高められるよう、適切な運営に努めていく必要がある。

【評価基準】

- A: 期待を大きく上回る成果が挙がっており、適正な管理運営がなされている B: 期待を上回る成果が挙がっており、適正な管理運営がなされている
C: 期待した成果が挙がっており、適正な管理運営がなされている D: 期待を下回る成果となっており、管理運営の改善が必要である
E: 期待を大きく下回る成果となっており、管理運営の大幅な見直しが必要である

memo

このページは空白ページです。次ページに続きます。

2. 指定管理者制度導入施設評価

④

所管課	企画部 文化国際課
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	平和市民公園能楽堂		
	所在地	大分市牧揚町1番30号		
	設置目的	能楽、邦楽その他の伝統的芸能文化の振興を図り、市民文化の向上に資すること。		
指定管理者	名称	平和市民公園能楽堂共同事業体(㈱テイクファイブ・㈱メンテナンス)		
	代表者名	㈱テイクファイブ 代表取締役 白石 成裕		
	所在地	大分市王子中町10番22号		
指定管理業務の内容	①指定管理の使用許可に関する業務			
	②管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務			
	③管理物件の維持管理に関する業務			
	④その他、大分市又は指定管理者が必要と認める業務			
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日 (3年間)	導入年度	平成19年度	
料金制度	利用料金制	選定方法	公募	

2. 制度導入による効果

サービスの向上等								
<p>開館時間：9:00～21:30(夜間利用がない場合は18:00閉館) 休館日：毎週月曜日(ただし、要望があれば開館。なお、月曜日が休日の場合にはその翌日)、12/28～1/3</p> <p>《主な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の利用可能日を拡大(休館日でも利用希望があれば利用許可)した イベント等で特典を受けられる「能楽堂友の会」会員を募集 「能楽堂新聞」を毎月発行するなど、イベント等の周知を図った 中学校への出張能楽教室や能楽体験講座などの初心者教室の開催 <p>《自主事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> 「音和座大分公演」515人[前年度370人] (「宝のまち・豊後FUNAI芸術祭」) こども能楽教室 762人[前年度500人] ・能楽初心者教室 115人 能楽堂 桜茶会 500人[前年度500人] ・能楽堂 観月祭 730人 Ars Scola Vol.13-16 1,835人[前年度1,643人] ・能楽装束・能楽展 2,080人[前年度1,000人] 能楽の祭典 600人[前年度370人] ・お稽古サロン11回 188人 能楽サロン2回 33人 ほか 								
利用者数 (単位:人)				29年度目標④	38,000	達成率①/④	98.4%	
18年度②(直営時)	25年度	26年度	27年度	28年度③	29年度①	18年度比①-②	28年度比①-③	
23,501	35,637	36,813	37,097	38,366	37,402	13,901	▲ 964	
管理運営経費の削減額(直営比較時) (単位:千円)					利用者満足度(%)			
直営時管理運営経費(b)		29年度指定管理料(a)		削減額(a)-(b)		満足	やや満足	
47,089		47,000		▲ 89		83.4	5.8	

3. 評価結果

内部評価	
C	<p>29年度は、市指定事業や自主事業等を通じて、市民が能楽に触れる機会を例年同様に創出しており、施設の稼働率は90%を超えたものの、利用者数や利用者は前年度と比較してともに下回っており、目標数にも到達できなかった。</p> <p>全体的に能楽人口が減少傾向になるなか、「こども能楽教室」や「能楽初心者教室」などを通じて、若年層へ能の面白さや奥深さを体験できるようにするとともに、「体験型のワークショップ」や「能楽以外の公演」などで能楽室に来場できるように取組も実施している。</p> <p>今後は、テレビや新聞、SNSなどの媒体を活用した積極的な広報活動、自主事業の充実によって、今まで能楽に関心の低い市民にも来場するきっかけとなる取組を実施するほか、施設利用者の拡大のために、新たなジャンルの利用者の開拓にも力を入れていく必要がある。</p>

【評価基準】

- A: 期待を大きく上回る成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 B: 期待を上回る成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 C: 期待した成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 D: 期待を下回る成果となっており、管理運営の改善が必要である
 E: 期待を大きく下回る成果となっており、管理運営の大幅な見直しが必要である

⑤

所管課	教育部 美術振興課
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	アートプラザ		
	所在地	大分市荷揚町3番31号		
	設置目的	市民の芸術文化活動の振興を図り、もって市民文化の向上に資すること。		
指定管理者	名称	アートプラザ共同事業体(㈱コンベンションリンケージ・㈱メンテナンス)		
	代表者名	㈱コンベンションリンケージ 代表取締役 平位 博昭		
	所在地	大分市府内町1-3-18 ポラリス府内		
指定管理業務の内容	①管理施設の使用許可に関する業務			
	②管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務			
	③管理物件の維持管理に関する業務			
	④その他指定管理に付随する業務。ただし、3階磯崎新建築展示室及び2階60年代ホール展示業務並びに1階収蔵庫本来の業務管理は市直営とする			
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日 (3年間)	導入年度	平成19年度	
料金制度	利用料金制	選定方法	公募	

2. 制度導入による効果

サービスの向上等								
<p>開館時間：9:00～22:00 休館日：12/28～1/3 ※イベントが開催される場合は開館</p> <p>《主な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 公式ホームページの運営と公式フェイスブックの運用 ボランティア組織の運営 (29年度登録者 31人) コンパルホール及び大分銀行宗麟館、商店街との広報連携 大分県立芸術文化短期大学との協力 市美術館や県立美術館との連携 磯崎建築の文化的価値を広げる活動の実施 竹工芸を学ぶアートプラザものづくり教室の開講 <p>《自主事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> 磯崎新ハネル展 1,347人[前年度1,484人] ・ARTPLAZA 北村直登展 実3回目 4,655人 アートプラザミュージアムショップ一般公募企画第1～11弾 19,900人[前年度10,200人] 「永井秀幸 錯覚3Dアートの世界」11,439人[前年度企画展6,195人] ART PLAZA 『アートマーケット vol. 28～30』3,903人[前年度2,945人] ART PLAZA U-40 建築家展2017 1,010人[前年度1,406人] ART PLAZA Pickup Artist展 vol.7 1,893人[前年度2,135人] アートプラザ竹工芸教室 1-10回 99人 ・第6回アートプラザ建築キッズ絵画展 1,186人[前年度928人] ほか 								
利用者数 (単位:人)				29年度目標④	180,000	達成率①/④	94.5%	
18年度②(直営時)	25年度	26年度	27年度	28年度③	29年度①	18年度比①-②	28年度比①-③	
138,162	171,054	212,806	172,483	168,693	170,023	31,861	1,330	
管理運営経費の削減額(直営比較時) (単位:千円)					利用者満足度(%)			
直営時管理運営経費(b)		29年度指定管理料(a)		削減額(a)-(b)		満足	やや満足	
79,413		73,540		▲ 5,873		65.6	30.6	

3. 評価結果

内部評価	
C	<p>29年度は、各種メディアにも多数取り上げられ話題となった新進気鋭の3Dアーティスト永井秀幸展において、大分市民はもとより県外からも観覧に訪れ、入場者数が1万人を超えることができた。</p> <p>また、世界的な建築家磯崎新氏を紹介する見学案内ツアーや講座などに取り組み、多くの方にすばらしい作品を見てもらうことができた。</p> <p>さらに、市・県立美術館や芸術文化短期大学、中心部商店街などと積極的に連携を取りながら市民がアート作品を気軽に感じ、発表できる場として、施設の役割を十分に果たしていることは評価できる。</p> <p>しかし、年間来館者数が目標値(18万人)に到達しなかったことから評価しているが、今後は、国民文化祭やラグビーワールドカップなどの大規模イベントに向け、市美術館等と連携をさらに深めるとともに、発信の場を広げ利用者拡大を期待するところである。</p>

【評価基準】

- A: 期待を大きく上回る成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 B: 期待を上回る成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 C: 期待した成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 D: 期待を下回る成果となっており、管理運営の改善が必要である
 E: 期待を大きく下回る成果となっており、管理運営の大幅な見直しが必要である

2. 指定管理者制度導入施設評価

⑥

所管課	企画部 文化国際課
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	コンパルホール		
	所在地	大分市府内町一丁目5番38号		
	設置目的	市民文化の創造に寄与するとともに、市民生活の向上を図ること。		
指定管理者	名称	コンパルホール共同事業体(㈱コンベンションリンケージ・㈱メンテナンス)		
	代表者名	㈱コンベンションリンケージ 代表取締役 平位 博昭		
	所在地	大分市府内町1-3-18 ボラリス府内		
指定管理業務の内容	①管理施設の使用許可に関する業務			
	②管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務			
	③管理物件の維持管理に関する業務			
	④管理施設の利用促進及び文化とスポーツの振興を図る業務			
	⑤教室・講座、イベント等の自主事業の実施に関する業務			
	⑥その他、大分市が必要と認める業務			
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日(5年間)	導入年度	平成23年度	
料金制度	利用料金制	選定方法	公募	

2. 制度導入による効果

サービスの向上等							
<p>開館時間：8:30～22:00(貸出は9:00～22:00) 休館日：毎月第2月曜日(ただし、祝日の場合は翌日以降の休日でない日)、12/28～1/3</p> <p>《主な取組》 ・休館日を月4～5回から月1回へと減らし、開館時間を30分早めた(8:30～22:00) ・公式ホームページを運営と、公式フェイスブックページの運用 ・公式キャラクター「バルちゃん」のイベント出演などを通じたコンパルホールに親しみきっかけ作り ・飲食可能な休憩スペースの増設 ・大規模予約申込期間の変更 ・アートプラザ、ホルトホール大分、能楽堂、市美術館などとの連携</p> <p>《自主事業》 ・コンパル子どもフェスタ 3,726人[前年度4,897人]4館連携(コンパルホール、市民図書館分館、男女共同参画センター、中央公民館) ・コンパル海の日市民スポーツデー2017 911人[前年度1,409人] ・コンパル博覧会2018春 3,649人[前年度3,362人] ・みんなの七夕飾り☆広場 2,100人[前年度2,100人] ・なつかしの映画上映会フィルムマラソン 912人[前年度1,319人] ・コンパル秋の市民スポーツデー2017 815人[前年度1,048人] ・クラフトフェスタinコンパル 1,300人(新規) ・養命大学文化サロン(10回) 2,404人[前年度2,526人] ・コンパルホールワールドゴスペルコンサート 389人[前年度464人] ・コンパルホール Xmasコンサート 211人[前年度366人] ・コンパル防災訓練デー 300人(新規) ほか</p>							
利用者数(単位:人)				29年度 目標④	605,000	達成率 ①/④	100.7%
22年度② (直営時)	25年度	26年度	27年度	28年度③	29年度①	22年度比 ①-②	28年度比 ①-③
541,857	549,830	572,584	598,305	595,003	609,350	67,493	14,347
管理運営経費の削減額(直営比較時)(単位:千円)				利用者満足度(%)			
直営時管理運営経費(b)		29年度指定管理料(a)		削減額(a)-(b)		満足	やや満足
159,200		136,760		▲22,440		48.6	41.9

3. 評価結果

内部評価	
A	<p>29年度は目標としていた年間利用者数605,000人(実績609,350人)、教室・講座数1,400回(実績1,565回)、サービス満足度81.0%(実績90.5%)を達成しており、安定した管理運営を維持している。また、体育室や柔剣道室はほぼ100%稼働しており、市民のスポーツへの関心や健康意識の高さをうかがうことができるとともに、市民生活になくてはならない施設として定着している。</p> <p>さらに、集客力の高い文化ホールや多目的ホール、会議室は年平均で65%超稼働しており、特に文化ホール(70.8%)、会議室(71.6%)は指定管理者制度導入(23年度)以来最高の平均稼働率となっていることから、ホルトホール大分との施設の使い分けがうまく市民に浸透してきていることがうかがえる。</p> <p>他に、急病やケガ人への対応や老朽化による施設修繕、利用者からの意見・要望等への適切な対応がうかがえ、市民が安心して利用しやすい施設の管理運営がなされていると考えられる。</p> <p>今後は、引き続き市民の利便性の高い施設としての管理運営に努めることはもとより、東京オリンピック・パラリンピックに向けた海外の事前合宿などの利用に備え、施設としての機能性を高めながら、これまで以上に市民が活用しやすい施設となるような管理運営が望まれる。</p>

【評価基準】

- A: 期待を大きく上回る成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 B: 期待を上回る成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 C: 期待した成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 D: 期待を下回る成果となっており、管理運営の改善が必要である
 E: 期待を大きく下回る成果となっており、管理運営の大幅な見直しが必要である

⑦

所管課	企画部 文化国際課
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	ホルトホール大分		
	所在地	大分市金池南一丁目5番1号		
	設置目的	文化、福祉、健康、産業及び教育の拠点機能を複合し、有機的かつ効果的に連携させた集い・学び・憩い・賑わい・交流の場を創出することにより、大分の人と文化と産業を育み、創造し、発信するとともに、市民の豊かで充実した暮らしの実現に寄与すること。		
指定管理者	名称	ホルトホール大分分みらい共同事業体(日本管財㈱九州本部・㈱九電工・㈱コンベンションリンケージ・㈱プランニング大分・学校法人後藤学園)		
	代表者名	日本管財㈱九州本部 本部長 市丸 寛明		
	所在地	福岡市中央区天神1丁目14-16		
指定管理業務の内容	①運営管理施設の運営管理に関する業務			
	②運営管理施設の使用許可に関する業務			
	③運営管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務			
	④運営管理物件における自主事業の実施に関する業務			
	⑤運営管理施設の利用促進及び文化、福祉、健康、産業及び教育の振興を図る業務			
	⑥その他、大分市が必要と認める業務			
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日(3年間)	導入年度	平成25年度	
料金制度	利用料金制	選定方法	公募	

2. 制度導入による効果

サービスの向上等							
<p>開館時間：8:30～22:30(貸出は9:00～22:00) 休館日：毎月第2・第4月曜日(休館日が休日の場合は翌日以降の平日)、12/28～1/3</p> <p>《主な取組》 ・公式ホームページを運営し、イベント情報や各種教室・講座を紹介した ・公式フェイスブックページにより、イベント情報等を紹介した ・コンサート出演者との演奏後の交流会等の特典を受けることができる市民ホール 友の会(ホルトとも)の募集を行った</p> <p>《自主事業》 ・避難訓練コンサート(県内吹奏楽団体、県音楽隊) 253人[前年度300人] ・第2回ホルトホール大分高校演劇グランプリ 1,652人[前年度1,100人] ・FUNAI演劇祭 730人 ・豊後FUNAIミュージカル(第5回市民ミュージカル) 1,242人[前年度750人] ・0歳児からOK!親子で楽しむコンサート 500人[前年度500人] ほか</p>							
利用者数(単位:人)				29年度 目標④	803,000	達成率 ①/④	105.9%
25年度② (制度導入前)	25年度	26年度	27年度	28年度③	29年度①	25年度比 ①-②	28年度比 ①-③
475,046	803,093	883,531	887,226	850,321	850,321	375,275	▲36,905
管理運営経費の削減額(直営比較時)(単位:千円)				利用者満足度(%)			
導入1年目指定管理料(b)		29年度指定管理料(a)		削減額(a)-(b)		満足	やや満足
180,620		169,654		▲10,966		67.9	18.2

3. 評価結果

内部評価	
B	<p>利用者数については、当初目標の803,000人(実績850,321人)は達成したものの、熊本地震等の影響があった28年度と比べて37,000人弱減少しており、今後は利用者数の増加に向けた取組が望まれる。</p> <p>一方、施設利用者満足度については、「満足・やや満足」の割合が86.1%(28年度実績78.1%)、自主事業満足度は87.1%(28年度実績91.8%)と、ともに高くなっており、アンケート調査などで寄せられている利用者からの要望・苦情等に真摯に対応していることがうかがえる。</p> <p>また、友の会特典の継続や機能回復訓練室の充実、障がい者福祉用具体験室の運用と文化教室の内容の見直し、施設内の認知度が低い施設のPR方法の検討等を実施したほか、より必要性の高い施設に重点を移すことや夜間や土日祝日などを利用した働く世代に対する事業を実施するなど、利便性の高い施設となるような管理運営は評価できる。</p> <p>さらに、29年度からは、市民ホール・会議室等でMICE事業を誘致するため、優先予約を開始し、国民文化祭やラグビーワールドカップとの連携事業を企画するなど機運醸成にも取り組んでおり、中心市街地のにぎわい創出にも寄与していることは評価できる点である。</p>

【評価基準】

- A: 期待を大きく上回る成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 B: 期待を上回る成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 C: 期待した成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 D: 期待を下回る成果となっており、管理運営の改善が必要である
 E: 期待を大きく下回る成果となっており、管理運営の大幅な見直しが必要である

2. 指定管理者制度導入施設評価

⑧

所管課	商工労働観光部 観光課
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市高崎山自然動物園		
	所在地	大分市大字神崎字ウト3078番地の1		
	設置目的	瀬戸内海国立公園高崎山動物園事業の実施により自然環境の保護及び動物の愛護に関する市民意識の高揚を図るとともに、市民に多様な憩いと集いの場を提供することにより健全な余暇の活用にあ資すること。		
指定管理者	名称	一般財団法人 大分市高崎山管理公社		
	代表者名	理事長 久渡 晃		
	所在地	大分市大字神崎字ウト3098番地の1		
指定管理業務の内容	①管理施設の使用許可に関する業務 ②管理施設の使用に係る利用料金の徴収、選付に係る業務 ③管理物件の維持管理に関する業務 ④大分市高崎山自然動物園の利用者に対するサービス業務 ⑤動物園の猿に関する業務 ⑥猿被害に関する業務 ⑦猿被害対策に関する業務 ⑧管理施設の安全管理に関する業務 ⑨入園客の誘致、情報発信、自然環境保護、動物愛護に関する意識の高揚のための啓発に関する業務 ⑩経営・管理に関すること			
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日（3年間）	導入年度	平成16年度	
料金制度	-		選定方法	任意指定

2. 制度導入による効果

サービスの向上等							
開園時間：8:30～17:00(年中無休)							
≪主な取組≫ ・公式ホームページ、公式フェイスブックの運営 「高崎山無料の日」イベント ・高崎山キャラクター「たかもん・たかもも」による保育所・幼稚園訪問PR ・高崎山ボランティアガイド、学生ボランティアの活用 ≪自主事業≫ ・猿の生態等講演事業 2,915人[前年度3,870人]講演回数21回[前年度38回] ・高崎山猿総合調査事業 ・有鳥島獣としての高崎山周辺のサル捕獲業務 ・高崎山キャラクター「たかもん」「たかもも」等のグッズ開発・販売							
利用者数（単位：人）				29年度 目標④	300,000	達成率 ①/④	95.7%
15年度② (直営時)	25年度	26年度	27年度	28年度③	29年度①	15年度比 ①-②	28年度比 ①-③
265,160	317,011	305,798	388,396	288,615	287,136	21,976	▲ 1,479
管理運営経費の削減額(直営比較時)（単位：千円）				利用者満足度(%)			
直営時管理運営経費(b)	29年度指定管理料(a)	削減額(a)-(b)		満足	やや満足		
276,584	257,722	▲ 18,862		53.4	28.7		

3. 評価結果

内部評価	
C	28年4月の熊本大分地震の影響により、入園者数が減少して以来、積極的な自主事業に取り組みとともに、Facebookやホームページなどでの広報に努めているが、多雨や寒波といった天候や寄せ場のサルが頭の状態が増えるなどの影響により、入園者数の増加にはつながっていない。 また、入園者の満足度の向上を図るため、職員の工夫やアイデアを生かした活動も行っているが、業務内容の過酷さなどもあり、人員の確保が困難な状況も見受けられる。 しかしながら、本市にとって代表的な観光施設であることから、国民文化祭やラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、国内外から多くの来訪者が期待される中、入園者増に向けた誘客を図るための取組は急務である。 今後、入園者の増加と多様化が予想され、施設のバリアフリー化や多言語化などの取組も必要となってくることから、適正人員の確保に向けた検討を行うとともに、適正な管理運営にも努めていく必要がある。

【評価基準】
A: 期待を大きく上回る成果が挙がっており、適正な管理運営がなされている **B:** 期待を上回る成果が挙がっており、適正な管理運営がなされている
C: 期待した成果が挙がっており、適正な管理運営がなされている **D:** 期待を下回る成果となっており、管理運営の改善が必要である
E: 期待を大きく下回る成果となっており、管理運営の大幅な見直しが必要である

⑨

所管課	教育部 文化財課
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市海部古墳資料館		
	所在地	大分市大字里646番地の1		
	設置目的	亀塚古墳をはじめとする古墳資料(古墳の出土品その他古墳に関する資料をいう。以下同じ。)を広く市民の観覧に供し、もって市民の教育、学術及び文化の向上に寄与すること。		
指定管理者	名称	坂ノ市区社会教育関係団体連絡協議会		
	代表者名	会長 指原 健一		
	所在地	大分市坂ノ市西一丁目10番6号(坂ノ市公民館)		
指定管理業務の内容	①資料館の維持管理・案内業務 ②国指定史跡亀塚古墳の案内及び保全管理のための見回り業務 ③研修室の使用許可に関する業務 ④研修室使用料の徴収業務 ⑤管理施設の利用促進、情報発信に関する業務 ⑥その他、施設の管理に関して大分市教育委員会が必要と認める業務			
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日（3年間）	導入年度	平成18年度	
料金制度	-		選定方法	任意指定

2. 制度導入による効果

サービスの向上等								
開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで) 休館日：毎週月曜日(ただし、毎月第1月曜日及び月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日が休館。)、12/28～1/4								
≪主な取組≫ ・市内の学校や公民館等への広報活動と、地域の大人・子ども向けの講座の開催 ≪自主事業等≫ ・市内の学校や公民館等への広報活動 ・地域の大人・子ども向けの講座開催								
利用者数（単位：人）					29年度 目標④	19,000	達成率 ①/④	99.2%
17年度② (直営時)	25年度	26年度	27年度	28年度③	29年度①	17年度比 ①-②	28年度比 ①-③	
10,804	16,855	18,390	18,773	19,205	18,844	8,040	▲ 361	
管理運営経費の削減額(直営比較時)（単位：千円）						利用者満足度(%)		
直営時管理運営経費(b)	29年度指定管理料(a)	削減額(a)-(b)		満足	やや満足			
5,495	5,016	▲ 479		71.5	13.8			

3. 評価結果

内部評価	
B	指定管理者制度導入前の17年度まで減少傾向にあった入館者数は制度導入以降、増加に転じたが、29年度は28年度に比べ361人減少し、目標値を達成することができなかった。 (要因としては、10月の「海部のまつり」が台風の影響で中止になったことが挙げられ、中止していなければ目標値には達していたと想定される。) 主な取組としては、夏休みの恒例行事として定着した「勾玉教室」や「埴輪作り教室」をはじめ、近隣小学校を対象とした古墳に関する出前講座などの自主事業による継続的な取組が好評を得ている。 また、利用者アンケートにおいても、8割以上が「満足・やや満足」と答えるなど、満足度の高さもうかがえる。 今後も、利用者のさらなる増加を目指すとともに、より長期的な計画に基づいた設備改修と更新、展示内容の見直し等により施設の魅力向上に努めていく必要がある。

【評価基準】
A: 期待を大きく上回る成果が挙がっており、適正な管理運営がなされている **B:** 期待を上回る成果が挙がっており、適正な管理運営がなされている
C: 期待した成果が挙がっており、適正な管理運営がなされている **D:** 期待を下回る成果となっており、管理運営の改善が必要である
E: 期待を大きく下回る成果となっており、管理運営の大幅な見直しが必要である

2. 指定管理者制度導入施設評価

10

所管課	教育部 社会教育課
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市関崎海星館		
	所在地	大分市大字佐賀関4057番地の419		
	設置目的	海洋及び天文に関する学習の場を提供することにより市民の知識及び教養の向上を図るとともに、豊かな自然環境の下での余暇の活用に資すること。		
指定管理者	名称	大分エージェンシー㈱		
	代表者名	代表取締役 高倉 康弘		
	所在地	大分市法勝台一丁目1番13号		
指定管理業務の内容	①管理施設の利用に関する業務			
	②管理施設の利用に係る料金の徴収に関する業務			
	③管理施設等の維持管理に関する業務			
	④管理施設の利用促進及び生涯学習の振興を図る業務			
	⑤管理施設等の経営管理に関する業務			
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日（5年間）	導入年度	平成23年度	
料金制度	利用料金制	選定方法	公募	

2. 制度導入による効果

サービスの向上等							
<p>開館時間：月・水・木曜日(10:00～18:00)、金・土・日・祝日、8月中(10:00～22:00) 休館日：毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)</p> <p>《主な取組》 ・入館料を無料にし、観覧料制(天体観測室)とした ・春休み期間中は平日も定時にASTROコンスターを無料上映した ・お土産コーナーのリニューアルと商品の拡充を行った ・雨天・曇天時でも来館者に有料で館内ツアーを開始した</p> <p>《自主事業》 ・スターウォッチング教室 139人[前年度254人] ・ネイチャーウォッチング教室 17人 ・天体観察講座 22人 ・皆既月食観覧会 61人 ・初日の出観望会 703人 ・星のソムリエ講座 全7回 51人 ・出前天文教室 55回 5,983人[前年度3,641人] ・JR大分シティ春休み宇宙ワールド協カイベン 5,710人 ほか</p>							
利用者数（単位：人）				29年度 目標④	25,500	達成率 ①/④	98.7%
22年度② (直営時)	25年度	26年度	27年度	28年度③	29年度①	22年度比 ①-②	28年度比 ①-③
14,381	23,211	21,929	25,267	25,616	25,172	10,791	▲ 444
管理運営経費の削減額(直営比較時)（単位：千円）				利用者満足度(%)			
直営時管理運営経費(b)	29年度指定管理料(a)	削減額(a)-(b)		満足	やや満足		
27,760	27,500	▲ 260		52.4	20.4		

3. 評価結果

内部評価	
C	<p>23年度から、入館料を無料にしたことで、直営時と比較し、施設利用者数は大幅に増加しているものの、目標値には到達しなかった。</p> <p>29年度は、特異な天体現象のない中、リピーターの確保に向けた新規講座の開設、出張教室の積極的な実施、自主事業の見直しや追加(JRおいたシティとの連携イベント等)、権限管理等を行うことで、利用者のニーズに合わせたサービスが提供できるよう工夫を図ったところである。</p> <p>また、利用者アンケートなどで、関崎海星館までのアクセス道路(県道)についての意見や要望が多くあることから、大分県にも改善に向けた要望、協議を続けていく必要がある。</p> <p>今後も、利用者数の増加や満足度の向上に向け、事業の見直し等を行うとともに、悪天候時でも来館者が見込めるような施設機能の強化等を検討する必要がある。</p>

【評価基準】

- A: 期待を大きく上回る成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 B: 期待を上回る成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 C: 期待した成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 D: 期待を下回る成果となっており、管理運営の改善が必要である
 E: 期待を大きく下回る成果となっており、管理運営の大幅な見直しが必要である

11

所管課	教育部 社会教育課
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市情報学習センター		
	所在地	大分市大字荏隈309番地の1		
	設置目的	本市の情報学習の支援及び生涯学習の振興を図ること。		
指定管理者	名称	公益財団法人 ハイパーネットワーク社会研究所		
	代表者名	理事長 村上 憲郎		
	所在地	大分市 東春日町51番6号 大分第2ソフィアプラザビル4階		
指定管理業務の内容	①大分市情報学習センターの使用許可に関する業務			
	②大分市情報学習センターの使用に係る利用料金の徴収に関する業務			
	③大分市情報学習センターの施設及び設備の維持管理に関する業務			
	④大分市情報学習センターの利用促進並びに情報学習の支援及び生涯学習の振興を図る業務			
	⑤その他大分市情報学習センターの管理に関して市長等が必要と認める業務			
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日（5年間）	導入年度	平成26年度	
料金制度	利用料金制	選定方法	公募	

2. 制度導入による効果

サービスの向上等							
<p>開館時間：火～土(8:30～21:30)、日・月・祝日(8:30～17:00) ※事前予約ですべて22:00まで貸館可能 休館日：年末年始(12月28日～1月4日)</p> <p>《主な取組》 ・タブレットや3Dプリンター等ICT機器へ対応した教室を多数開催した ・館内施設の利用料金を値下げし、市民の方がより利用しやすい料金体系とした ・公式ホームページや、公式ツイッター・公式フェイスブックによる広報</p> <p>《自主事業》 ・タブレット教室 ・デジタルものの作り教室(3Dプリンター等) ・ロボットプログラム教室 ・映像編集講座 ・ワード、エクセル講座 ほか</p>							
利用者数（単位：人）				29年度 目標④	36,000	達成率 ①/④	103.0%
25年度② (直営時)	25年度	26年度	27年度	28年度③	29年度①	25年度比 ①-②	28年度比 ①-③
23,011	—	24,007	31,243	36,640	37,078	14,067	438
管理運営経費の削減額(直営比較時)（単位：千円）				利用者満足度(%)			
直営時管理運営経費(b)	29年度指定管理料(a)	削減額(a)-(b)		満足	やや満足		
43,815	38,000	▲ 5,815		39.8	42.1		

3. 評価結果

内部評価	
B	<p>情報モラル向上に関する取組やプログラミング教室、母親向けの講座等、時代や市民のニーズに合った教室を開講するなど、指定管理者の特性を生かした事業を展開しており、当初目標の数値、施設利用者数36,000人、受講者数3,600人を達成した。</p> <p>施設の有効活用については、案内チラシを各公民館等に配置したり、市報と併せて各戸配布するなど、市民の目に留まるよう積極的に広報に取り組んでいるものの、貸館の稼働率増にはつながっていない状況であり、利用形態に応じた活用方法の検討が必要である。</p> <p>今後も、SNS活用等による広報活動の充実を図ることにより、施設や貸館制度の周知、市民ニーズにあったICT教室の実施、稼働率の低い部屋を利用する団体の誘致等に努め、さらなる利用者増を図る必要がある。</p>

【評価基準】

- A: 期待を大きく上回る成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 B: 期待を上回る成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 C: 期待した成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 D: 期待を下回る成果となっており、管理運営の改善が必要である
 E: 期待を大きく下回る成果となっており、管理運営の大幅な見直しが必要である

2. 指定管理者制度導入施設評価

12

所管課	企画部 文化国際課
施設種別	レクリエーション・スポーツ施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市宇曾山荘		
	所在地	大分市大字入蔵635番地の1		
	設置目的	豊かな自然環境を生かし、人や文化の交流の場を提供することにより、市民の心身の活力の向上に寄与すること。		
指定管理者	名称	宇曾山荘運営協議会		
	代表者名	会長 伊藤 義昭		
	所在地	大分市大字下原1800番地の10		
指定管理業務の内容	①管理施設の使用許可に関する業務			
	②管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務			
	③管理物件の維持管理に関する業務			
	④その他、大分市が必要と認める業務			
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日（3年間）	導入年度	平成19年度	
料金制度	利用料金制	選定方法	公募	

2. 制度導入による効果

サービスの向上等								
<p>開館時間：9:00～22:00 休館日：毎週月曜日（月曜日が休日の場合はその翌日）、12/31～1/3</p> <p>＜主な取組＞ ・年末の開館日の延長や要望次第では月曜日の休館日も開館するなど、利用の拡大を図った ・市内外の小中学校、高校へダイレクトメールを送付し、積極的なテニス会館の誘致により、利用者の増加テニスコートの空き状況や会館予約状況を施設HPより確認可能とした ・新聞折り込みや情報誌に広告を掲載し、認知度アップを行った ・会食利用者へのドリンクサービスの提供や支配人による落語の実施 ・新聞のお悔やみ欄から、近隣エリアのお宅に法事案内のダイレクトメールを行った ・過去の利用者に対しダイレクトメールで利用の呼びかけを行った ・団体用の無料送迎バスを2台配置し、50名程度の団体まで受け入れ可能とした</p> <p>＜自主事業＞ 実施なし</p>								
利用者数（単位：人）				29年度 目標④	25,200	達成率 ①/④	103.1%	
18年度② (直営時)	25年度	26年度	27年度	28年度③	29年度①	18年度比 ①-②	28年度比 ①-③	
14,444	21,628	22,728	24,133	25,783	25,981	11,537	198	
管理運営経費の削減額（直営比較時）（単位：千円）					利用者満足度（%）			
直営時管理運営経費(b)	29年度指定管理料(a)	削減額(a)-(b)		満足	やや満足			
10,258	4,100	▲ 6,158		51.6	17.8			

3. 評価結果

内部評価	
B	<p>29年度は、研修宿泊及び法事利用、会席の件数、人数がともに減少傾向にあるため、要因分析や検証を重ね、利用者数の維持、増加に向けた取組を実施していく必要がある。</p> <p>一方、テニス利用は時間貸し、会館ともに増加傾向にあり、宇曾山荘全体の約8割の利用実績である。特に、28年度から料金体系の見直し（値下げ）や市内外の中学校・高校へのダイレクトメールの案内を送付したことなどが功を奏しているため、引き続き利用者数増加に向け、リピーターの確保とともに、新規利用者の開拓も進めていく必要がある。</p> <p>今後とも、地域や施設の特徴を生かした利用者サービスや満足度の向上を図りながら、安定した経営への取組が望まれるが、施設の老朽化による修繕費の増加や野津原地域の高齢化の進行などによる従業員確保が難しい点など、早急に対応が迫られている状況もあることから、市と協議を進めながら、対処する必要がある。</p>

【評価基準】

- A: 期待を大きく上回る成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 B: 期待を上回る成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 C: 期待した成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 D: 期待を下回る成果となっており、管理運営の改善が必要である
 E: 期待を大きく下回る成果となっており、管理運営の大幅な見直しが必要である

13

所管課	企画部 スポーツ振興課
施設種別	レクリエーション・スポーツ施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市営温水プール		
	所在地	大分市西浜1番14号		
	設置目的	市民の心身の健全な発達に寄与すること。		
指定管理者	名称	日本水泳振興会・東急コミュニティー共同事業体（㈱日本水泳振興会・㈱東急コミュニティー）		
	代表者名	(株)日本水泳振興会 代表取締役社長 坂元 要		
	所在地	東京都中野区東中野三丁目18番12号		
指定管理業務の内容	①管理施設の使用許可に関する業務			
	②管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務			
	③管理施設の施設及び設備の維持管理に関する業務			
	④管理施設の利用促進及びスポーツの振興を図る業務			
	⑤その他、市長等が必要と認める業務			
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日（3年間）	導入年度	平成19年度	
料金制度	利用料金制	選定方法	公募	

2. 制度導入による効果

サービスの向上等							
<p>開場時間：7月・8月：10:00～21:30、9月から6月10:00～21:00 休館日：毎週火曜日、12/29～1/3 【休業期間】29年4月1日～5月31日、12月4日～30年3月31日</p> <p>＜主な取組＞ ・休館日だった第1～第3火曜日を開館し水泳教室等を実施した ・毎週土曜日の開館時間を1時間早め、9:00～21:00とした ・トップアスリートを招いて講座を開くことで、市民がトップレベルの技術等に触れる機会を創出した ・ホームページやフェイスブックによる広報を開始 ・以前より水質管理が徹底されたことにより、大幅に水質の改善が図られた</p> <p>＜自主事業＞ ①水泳教室（小中学生155人[前年度528人]、高校生以上134人[前年度103人]） ②健康教室（アロマストレッチ） ③スポーツイベント（年5回）</p>							
利用者数（単位：人）				29年度 目標④	67,860	達成率 ①/④	99.1%
18年度② (直営時)	25年度	26年度	27年度	28年度③	29年度①	18年度比 ①-②	28年度比 ①-③
107,317	112,224	120,677	126,637	93,865	67,229	▲ 40,088	▲ 26,636
管理運営経費の削減額（直営比較時）（単位：千円）					利用者満足度（%）		
直営時管理運営経費(b)	29年度指定管理料(a)	削減額(a)-(b)		満足	やや満足		
60,337	50,508	▲ 9,829		47.7	24.2		

3. 評価結果

内部評価	
C	<p>29年1月に天井の落下事故が発生し、29年1月～5月、12月～30年3月まで施設を休館し、改修工事を行った影響により、年間利用者数は大幅に減少した。しかしながら、事故がなかった27年度の月平均利用者数(10,553人)と比較すると、11,205人(29年度に開館していた6カ月平均)であり、他都市でプールの指定管理の豊富な経験を持つ指定管理者の努力がうかがえることから、C評価とした。</p> <p>また、施設の管理についても、経年劣化による天井材の一部落下事故のような重大事象が発生しないよう、施設所管課と綿密な連携を取りながら日常点検を行っており、適切な施設の維持管理に努めている状況である。</p> <p>今後も、施設の空調設備の改修などが予定されており、引き続き計画的な施設の維持管理が必要となるが、一定期間閉館が続いたことによる利用者離れにつながらないよう、施設利用の広報に努めることにより、利用者数の増加を図っていく必要がある。</p>

【評価基準】

- A: 期待を大きく上回る成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 B: 期待を上回る成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 C: 期待した成果が挙っており、適正な管理運営がなされている
 D: 期待を下回る成果となっており、管理運営の改善が必要である
 E: 期待を大きく下回る成果となっており、管理運営の大幅な見直しが必要である

2. 指定管理者制度導入施設評価

14

所管課	企画部 スポーツ振興課
施設種別	レクリエーション・スポーツ施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市営陸上競技場並びに津留運動公園自由広場及びテニスコート		
	所在地	大分市西浜1番1号		
	設置目的	市民の体育及びレクリエーション等の用に供すること。		
指定管理者	名称	大分リバースタジアム共同企業体(株グリーンフジタ・大分市陸上競技協会・(株スポーツジョイ)		
	代表者名	(株グリーンフジタ 代表取締役 井尾 敦子		
	所在地	大分市中島中央2丁目2番25号		
指定管理業務の内容	①施設の使用許可に関する業務			
	②施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務			
	③施設の維持管理及び修繕に関する業務			
	④施設の利用促進を図るとともに、スポーツの振興に関する業務			
	⑤あらゆる世代の市民の健康づくり拠点に関する業務 ⑥その他、施設の管理に関して市長等が必要と認める業務			
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日（5年間）	導入年度	平成29年度	
料金制度	利用料金制	選定方法	公募	

2. 制度導入による効果

サービスの向上等							
<p>開場時間：競技場：9:00～20:00(ただし、4月から10月の間の毎週水・金曜日は21:00まで利用可能) 球場：4～10月 6:00～21:00時 11～3月 7:00～18:00 テニス：8:00～21:00 休場日：毎月1回(第1月曜日)・年末年始</p> <p>《主な取組》 ・休場日を1日にした ・夏季のみ毎週水・金曜日の開場時間を1時間延長した ・月曜日が休場日でテニスコートを使用できなかったが、月曜日も開放した ・テニスコートの利用時間を季節に応じて早期1時間早く貸し出せるようにした ・トレーニングルームにエアコンを2台設置 ・大会等のない水曜日を「高齢者無料開放日」とした</p> <p>《自主事業》 ①マラソン教室 1,409人[前年度1,592人] ②テニス教室 1,879人[前年度769人] ③卓球教室 1,810人[前年度1,787人] ④親子教室 1,480人[前年度731人] ⑤ウオーキング教室 741人[前年度541人] ⑥ストレッチ教室 957人[前年度486人] ⑦ジョギング教室 894人[前年度351人] ⑧ヨガ教室 1,961人 ⑨シニア筋トレ教室 335人 ほか</p>							
利用者数（単位：人）				29年度 目標④	248,000	達成率 ①/④	99.3%
19年度② (直営時)	25年度	26年度	27年度	28年度③	29年度①	19年度比 ①-②	28年度比 ①-③
158,713	226,593	240,206	240,751	240,321	246,173	87,460	5,852
管理運営経費の削減額(直営比較時)（単位：千円）				利用者満足度(%)			
直営時管理運営経費(b)	29年度指定管理料(a)	削減額(a)-(b)		満足	やや満足		
63,170	59,000	▲ 4,170		51.8	11.6		

3. 評価結果

内部評価	
C	<p>これまで指定管理者としての実績や経験をもとに、利用者ニーズを的確に捉えた事業の実施や利用時間の延長などにより、施設全体の利用者数は増加し、導入効果を挙げている。 特に、陸上競技場の利用促進では、福祉施設や学校関係に積極的な利用誘致活動を行い、遠足や運動会など利用者数増加の一助となっている。また、ニーズに沿った自主事業の教室も施設の利用価値を向上させている点は評価できる。 しかしながら、野球場、テニスコートについては、利用者数が年々減少していることから、今後、増加に向けた対策を検討し取り組む必要がある。 また、施設管理については、施設の老朽化による修繕や施設の各備品の修理などが多くなっていることから、重大な事故・故障等の無いよう、施設所管課と綿密な連携を取りながら、入念な施設点検・計画・営繕に努める必要がある。</p>

【評価基準】

- A: 期待を大きく上回る成果が挙がり、適正な管理運営がなされている B: 期待を上回る成果が挙がり、適正な管理運営がなされている
 C: 期待した成果が挙がり、適正な管理運営がなされている D: 期待を下回る成果となっており、管理運営の改善が必要である
 E: 期待を大きく下回る成果となっており、管理運営の大幅な見直しが必要である

15

所管課	土木建築部 住宅課
施設種別	基盤施設

1. 指定概要

施設概要	名称	市営住宅(一部)		
	名称	大分県住宅供給公社(2,787戸)・(株)大興産(2,194戸)		
	代表者名	大分県住宅供給公社 理事長 諏訪 義治・(株)大興産 代表取締役 伊勢戸 英世		
指定管理者	所在地	大分市城崎町2丁目3番32号・別府市餅ヶ浜町1番8号		
	指定管理業務の内容	①入居者の公募並びに入居及び退去に関する業務		
		②入居者の指導及び管理に関する業務		
③家賃及び駐車場使用料の収納に関する業務				
④市営住宅及び共同施設の維持管理並びに修繕に関する業務				
⑤その他、市長が特に必要と認める業務				
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日（5年間）	導入年度	平成23年度	
料金制度	—	選定方法	任意指定・公募	

2. 制度導入による効果

サービスの向上等							
<p>対応時間：8:30～17:15</p> <p>《主な取組》 ・26年4月から指定管理者による管理戸数を拡大し、2社による指定管理に移行した ・夜間や休日などを中心に入居者からの苦情や要望等における修繕対応などで迅速な対応が図られている ・家賃・駐車場使用料の収納率は高水準で推移している []はH28実績 県住宅供給公社（現年度）99.93%[99.68%]（過年度）12.46%[11.44%] (株)大興産（現年度）99.52%[99.02%]（過年度）22.08%[16.32%] (合計)92.61%[91.18%]</p> <p>※直営時(22年度)（現年度）97.98%（過年度）19.48%（合計）83.22%</p>							
家賃収納率(現年)（単位：%）				29年度 目標④	98.50	達成率 ①/④	101.3%
22年度② (直営時)	25年度	26年度	27年度	28年度③	29年度①	22年度比 ①-②	28年度比 ①-③
97.98	—	98.90	99.04	99.40	99.74	1.76	0.34
管理運営経費の削減額(直営比較時)（単位：千円）				利用者満足度(%)			
導入1年目指定管理料(b)	29年度指定管理料(a)	削減額(a)-(b)		満足	やや満足		
83,347	68,000	▲ 15,347		45.2	12.0		

3. 評価結果

内部評価	
B	<p>家賃と駐車場使用料の収納率は、92.61%となり、28年度より1.43%向上し、未収金総額も13,000千円以上減少するなど着実に効果が表れており、指定管理者の努力がうかがえる。 また、夜間・休日にも入居者からの要望、苦情に対応できる体制ができており、引き続き入居者に対するきめ細やかな対応が期待される。</p>

【評価基準】

- A: 期待を大きく上回る成果が挙がり、適正な管理運営がなされている B: 期待を上回る成果が挙がり、適正な管理運営がなされている
 C: 期待した成果が挙がり、適正な管理運営がなされている D: 期待を下回る成果となっており、管理運営の改善が必要である
 E: 期待を大きく下回る成果となっており、管理運営の大幅な見直しが必要である